

ANNUAL REPORT

2022

社会福祉法人 光仁会 富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

KOUJINKAI
TOMITAKENOSATO
ANNUAL REPORT
2022

法人沿革 Corporation History … 1
法人概要 Corporation Profile … 4
経営理念 Management Philosophy … 5
倫理行動規範 Code of business conduct and ethics … 5
持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals) … 6

TOPICS … 7

- 1 働きやすい職場環境整備の取り組みを振り返る
- 2 サービスの質向上、法令遵守の取り組みを振り返る
- 3 人材育成の取り組みを振り返る
- 4 地域とのつながりを振り返る
- 5 地域貢献の取り組みを振り返る
- 6 危機管理体制の取り組みを振り返る
- 7 看取り介護の取り組みを振り返る

DATA … 16

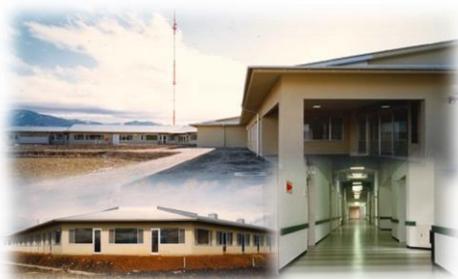
財務ハイライト Financial highlights … 19
公正な事業慣行 Fair business practices … 20
各事業所 TOPICS … 21

法人沿革 Corporation History

起源 Origin

1986年（昭和61年）に「社会福祉法人光仁会富竹の里」は誕生しました。当時は、戦後の医療技術の進歩、食生活の向上、国民皆保険制度の確立などにより、人生80年時代を迎え、世の中は高齢化社会の時代。長野市においても高齢者数は約3万6千人と人口の約10%を超え、認知症や寝たきりの高齢者の介護を真剣に考えなければならぬときでした。このような状況に鑑み、特別養護老人ホーム富竹の里を建設、運営し、社会的要請にこたえ、老人福祉の向上に寄与することを目的として法人が設立されました。

CHAPTER 1 1986~



社会福祉法人光仁会富竹の里の設立

特別養護老人ホーム富竹の里、
富竹の里ショートステイホームの開設

CHAPTER 2 1990~



在宅福祉事業への飛躍

デイサービスセンター、
ホームヘルプサービスの開始
(水戸黄門様出演者御一行様来訪 1993.3)

CHAPTER 3 2000~



介護保険制度施行

地域密着型施設、
地域包括支援センターの開設
富竹の里デイサービスセンターの新築移転

CHAPTER 4 2016~



地域包括ケアに向けて

地域福祉の発展に全力をささげていただいた方々への感謝の念を捧げつつ、新たな時代に向かって歩み始めています。

軌跡を辿る Follow the trajectory

創設期

昭和	58年	4月	老人ホーム建設構想検討開始
	60年	4月	法人設立準備委員会発足
	61年	7月	社会福祉法人光仁会富竹の里設立認可
		8月	特別養護老人ホーム富竹の里建設着工
	62年	4月	特別養護老人ホーム富竹の里開所（定員50名）
		7月	短期保護事業開始（定員4名）
	63年	2月	在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始
		4月	社会福祉士及び介護福祉士方施行

推進期

平成	2年	4月	長野市古里デイサービスセンター開所
		6月	社会福祉関係8法の改正
	3年	4月	短期保護事業定員2名増（6名） 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に改称
	5年	5月	介護福祉機器貸付事業開始
	6年	8月	富竹クリニック開院
	7年	12月	短期保護事業定員2名増（8名）
	9年	10月	長野市在宅介護支援センター富竹の里開所
		11月	富竹の里家族会結成
	10年	6月	富竹の里ホームヘルプセンター開所

充実期

平成	12年	2月	短期保護事業定員6名増（14名） 機能訓練室等を準個室へ改修
		9月	長野市から古里デイサービスセンター無償譲渡 特別養護老人ホーム富竹の里定員2名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員2名減（12名） 富竹の里デイサービスセンター定員5名増（25名）
	13年	4月	苦情解決相談委員設置
		6月	評議員会制度導入
	14年	6月	富竹の里デイサービスセンター定員5名増（30名）
		11月	富竹の里デイサービスセンターホール増設
	16年	4月	富竹の里和み開所（定員20名） 特別養護老人ホーム富竹の里定員4名減（48名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名増（16名）
		6月	富竹の里デイサービスセンター定員3名増（33名）

変革期

平成	18年	4月	高齢者虐待防止法制定 富竹の里介護予防（訪問、通所、短期）3事業所指定
	20年	4月	後期高齢者医療制度開始
		10月	介護付有料老人ホーム上松ホーム開所（定員15名）
	23年	4月	富竹の里、富竹の里和み スプリンクラー運用開始
	24年	6月	介護付有料老人ホーム上松ホーム定員9名増（24名）
	25年	10月	長野市地域包括支援センター富竹の里開所
	27年	3月	富竹の里デイサービスセンター移転新築
		7月	介護予防事業（生活らくかる運動塾）開始
	28年	1月	旧デイサービスセンターを富竹の里いきいきセンターへ名称変更
		4月	社会福祉法改正
		10月	富竹の里デイサービスセンター定員2名増（35名）
	29年	1月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和サービス指定（定員15名）
	30年	4月	富竹の里大規模改修工事・多床室プライバシー保護改修工事竣工 介護予防（通所、訪問）が長野市の実施する総合事業へ移行
令和	1年	12月	富竹の里定員4名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（12名）
令和	3年	9月	富竹の里定員4名増（56名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（8名）
令和	4年	3月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和サービス廃止
令和	4年	7月	富竹の里ホームヘルプセンター廃止

2018年4月竣工



特別養護老人ホーム富竹の里は、4人部屋に間仕切りの建具を設置し、
プライバシーに配慮された施設です。
個室の特養より、低額な料金でご利用いただけます。
より一層、皆様のお役に立てる施設を目指します。



地域を支える社会福祉事業を実践します
Social welfare service to support communities

法人概要 Corporation Profile

法人名	社会福祉法人光仁会富竹の里（こうじんかいとみたけのさと）
代表者	理事長 中野 清史（なかの きよし）
所在地	〒381-0006 長野県長野市大字富竹字堰下1621番地（法人登記） TEL（026）296-7383（代） FAX（026）296-7384
設立	1986年（昭和61年）8月28日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	社会福祉事業

- 主な事業**
- 【第一種社会福祉事業】
 - ・特別養護老人ホーム事業
 - 【第二種社会福祉事業】
 - ・老人短期入所事業
 - ・老人デイサービス事業
 - 【公益事業】
 - ・居宅介護支援事業
 - ・有料老人ホーム上松ホームを運営する事業
 - ・特定施設入居者生活介護事業
 - ・長野市地域包括支援センター事業
 - ・介護保険法に基づく第一号通所事業

特別養護老人ホーム富竹の里

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

特別養護老人ホーム富竹の里和み

TEL026-296-7705 FAX026-296-7384

介護付有料老人ホーム上松ホーム

TEL026-237-1660 FAX026-237-1661

長野市地域包括支援センター富竹の里

TEL026-295-7780 FAX026-296-8025

富竹の里ショートステイホーム

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

富竹の里デイサービスセンター

TEL026-296-2867 FAX026-296-7384

光仁会富竹の里介護支援センター

TEL026-296-8004 FAX026-296-7384



経営理念 Management Philosophy

私達は、

地域に開かれた信頼される施設づくりを目指します。

利用者の人権を尊重し、明るく健康的でやすらぎのあるサービスの提供を目指します。



光仁会の「K」は「光」を意味し、富竹の里の「T」は「人」を意味しています。光仁会の光（羅針盤）が、人（ご利用者、ご家族、地域住民、職員）の心に届く暖かい光（かがやき）を射しています。また、人の足元をてらし道筋を示しています。光仁会の名称は、「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」という意味です。

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics

サービスに関すること

- すべての方に対し、平等で公平な介護サービスに努めます。
- 思いやりをもって、私たち一人ひとりができることを精一杯行います。
- 常に自己研鑽に励み、根拠に基づいた安全で効率的な介護サービスに努めます。
- 専門職として高い倫理観を持って、職務に専念します。

ご利用者の保護等に関すること

- 人権・権利を尊重します。
- 知り得た事柄の守秘義務を厳守し、個人情報適切に取り扱い保護します。
- 原則として身体拘束を行いません。
- 相談苦情は、真摯に受止め、迅速・丁寧・公正に対応します。

チームワークに関すること

- 多様性を尊重し、相手の身になって、相手が不快・不安となる言動を慎みます。
- 簡潔で明確な言い方で相手に伝えます。
- 確認・連絡・報告を徹底します。
- 社会・社内のルールを守ります。
- 知識やアイデアを共有して、お互いの成長を目指します。

環境に関すること

- 省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の基本行動により、業務の効率化・質の維持向上・安全管理・教育訓練等の推進に努めます。

持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)



“SDGsと富竹の里” 持続可能な開発目標



SDGsとは、
すべての人たちが幸福に暮らせるための
世界共通の目標であり、
光仁会富竹の里の思いと同じです。
新たな価値観で中長期計画を進めます。

光仁会富竹の里（私たち）の5つの思い

【使命】
・社会的要請にこたえる
・福祉の向上に寄与する

【理念】
・地域に開かれ信頼される
・人権の尊重
・明るく健康的で安らぎを

光仁会とは「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」

光仁会富竹の里の5つの使命に重なる「SDGs17」の目標

【国連の目標】				
すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	働きがいも経済成長も	住み続けられるまちづくりを	パートナーシップで目標を達成しよう
【富竹の里の思い】				
明るく健康的で安らぎを	地域に開かれ信頼される	社会的要請にこたえる	福祉の向上に寄与する	互いに慈しみあう
【富竹の里が推進していく活動例】				
<ul style="list-style-type: none"> 医療法人と連携した地域貢献活動 サービスの質の向上 新たな福祉・医療体制 	<ul style="list-style-type: none"> 研修・研究発表・資格取得等の支援 環境改善できる職場 関係機関と連携 地域への教育・学習・相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営 地域の雇用に貢献 働きやすい職場環境 くるみん認定 	<ul style="list-style-type: none"> 地域共生社会・公益的な取り組み 非常災害対策 	<ul style="list-style-type: none"> 行政・他団体・住民との連携 目標やターゲット等と親和性の高い事業実施関係者への協力

その他「SDGs17」の目標

【国連の目標】					
貧困をなくそう	飢餓をゼロに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	産業の技術革新の基盤をつくろう
【富竹の里が推進していく活動例】					
社会福祉法人減免	非常食や水の備蓄	くるみん認定	カーボンニュートラル・脱炭素	施設設備の近代化 カーボンニュートラル・脱炭素	ICT・IOT・AI等でDX化
【国連の目標】					
人や国の不平等をなくそう	つくる責任使う責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に
【富竹の里が推進していく活動例】					
くるみん認定	建物設備の計画的な改修と建て替え	非常災害対策 災害派遣福祉チーム員の養成・派遣 カーボンニュートラル・脱炭素	カーボンニュートラル・脱炭素	カーボンニュートラル・脱炭素	ガバナンス・コンプライアンス体制の整備 包摂的な制度への協力

*カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

*DX：「Digital Transformation」進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

1

働きやすい職場環境整備の取り組みを振り返る

チームケア Team care

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

10 人や国の不平等
をなくそう



「従業員満足なくして顧客満足なし」
 職員が自分の職場や仕事に誇りを持ち、働きやすく働きがいを得られ、お互いの信頼関係のもとで、持てる能力をフルに発揮できる職場環境の整備を進めています。今後も、ワーク・ライフ・バランス支援、ダイバーシティの推進をとおして、職員の確保、働きがいや生きがいの向上、新しい発想や価値創造の実現を目指します。

一般事業主行動計画の策定

職員が仕事と子育てを両立させることができ、全職員が働きやすい環境を作ることによって、個々の職員の能力を十分に発揮できるよう行動計画を作成しました。
 目標は、男性職員の育児休業または子の看護休暇の1名取得を目指すこととし、
 ○育児休業を取得した職員から育児休業中の体験談収集
 ○朝礼等を通じて育児休業の体験談を発表し、育児休業制度の理解と取得促進の強化に取り組みました。



「くるみん」に認定されています

2020年認定
くるみん
認定企業

令和二年四月三十日
長野労働局長

基準適合一般事業主認定通知書
 社会福祉法人 光仁会 富竹の里 殿
 貴法人の平成三十年四月一日から令和二年三月三十一日までの一般事業主行動計画については、次世代育成支援対策推進法第十三条に基づく基準に適合するものであると認定しましたので、通知します。

「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から認定されています。
 「従業員満足なくして顧客満足なし」
 職員が自分の職場や仕事に誇りを持ち、働きやすく働きがいを得られ、お互いの信頼関係の基で、持てる能力をフルに発揮できる職場環境の整備を進めています。
 今後も、ワーク・ライフ・バランス支援、ダイバーシティの推進をとおして、職員の確保、働きがいや生きがいの向上、さらには新しい発想や価値創造の実現を目指します。

各種休暇の取得状況

- 年次有給休暇 (約10日)
- コロナ関連特別休暇 (述べ342日)
- 子の看護休暇 (100%)
- リフレッシュ休暇

規則の変更

最新の法改正等に対応するため、以下の規則の変更を行いました。

- 定款
- 職員就業規則
- 給与規定

ハラスメント防止研修

内容	適切な教育指導の方法 など
講師	弁護士 中嶋知文 先生
開催日	令和5年2月 8日 (水) 令和5年2月 15日 (水)



品質方針書の作成と伝達

理念や倫理行動規範、業務の基準などが記され、サービスの質向上に取り組むための冊子「品質方針書」を制作し、雇用形態に関わらず全スタッフに配布しました。

また、職員研修や新規職員採用時等には本書をテキストとして使用し、職員間で統一できるよう取り組みました。



顧客満足度アンケート実施

令和4年度 特別養護老人ホーム富竹の里 満足度アンケート集計結果

このアンケート調査は、当法人の行う事業所の評価をしていただき、お客様の意見を把握することで、今後の事業運営や満足度向上に反映させていくための貴重な基礎資料とするために実施いたしました。ここに集計結果をご報告させていただきます。ご回答いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、今後もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

調査項目	選択回答					記述回答
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	未記入	
1 基本情報	56人の中から51人のご回答をいただき、回答率は91%となった。					
1-1 ご回答者	ご本人：0% ご家族：84.3% その他：7.8% 記入なし：7.8%					
Ⅱ 信頼性について						2 やや不満足 1 不満の理由
1 約束の履行	92.2%	5.8%	0.0%	0.0%	2.0%	
2 頼りになる	88.2%	9.8%	0.0%	0.0%	2.0%	
3 情報の正確さ	94.1%	3.9%	0.0%	0.0%	2.0%	
Ⅲ 応答性について						2 やや不満足 1 不満の理由
1 情報提供	82.3%	15.7%	2.0%	0.0%	0.0%	職員と事務局との連携
2 迅速なサービス提供	86.2%	11.8%	0.0%	0.0%	2.0%	
3 連絡の取りやすさ	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
Ⅳ 確実性について						2 やや不満足 1 不満の理由
1 安全安心の支援	88.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

社会福祉法人光仁会富竹の里では、毎年、ご利用いただいているお客様の満足度（サービスの質）向上への取り組みの一環として、満足度アンケートを実施しています。施設及び在宅ともに多くの項目で90%以上の満足との回答を得ました。結果については、事業所ごとに一つひとつのご質問に返答する形で取りまとめ、ホームページに公表いたしました。

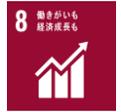
単位 %

事業所名	区分	信頼性	応答性	確実性	共感性
特養 富竹の里	満足～やや満足	98.0	98.6	100.0	98.0
	不満足～やや不満足	0.0	0.7	0.0	0.0
	未記入	2.0	0.7	0.0	2.0
特養 富竹の里和み	満足～やや満足	100.0	94.5	100.0	94.5
	不満足～やや不満足	0.0	5.5	0.0	0.0
	未記入	0.0	0.0	0.0	5.5
短期入所	満足～やや満足	81.5	88.9	89.0	81.5
	不満足～やや不満足	7.4	3.7	0.0	3.7
	未記入	11.1	7.4	11.0	14.8
通所介護	満足～やや満足	92.9	89.0	91.8	91.9
	不満足～やや不満足	0.9	3.8	1.4	1.4
	未記入	0.2	7.2	6.8	6.7
有料 上松ホーム	満足～やや満足	97.2	100.0	100.0	100.0
	不満足～やや不満足	0.0	0.0	0.0	0.0
	未記入	2.8	0.0	0.0	0.0

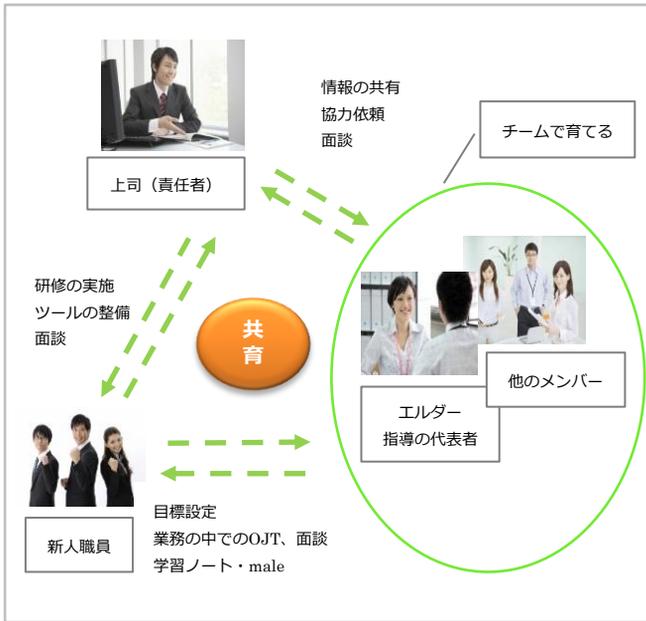
3

人材育成の取り組みを振り返る

キャリアアップ Career advancement



光仁会富竹の里では、新人職員・役職者・専門職員等を対象とした研修を年間研修計画に沿って実施しています。資格取得や資格更新のための研修や受験費用はすべて法人負担としました。環境の変化に敏感に対応すべく、固定概念にとらわれない意識改革、サービス向上にチャレンジする意欲と能力、高い倫理観と幅広い知識を持った職員の育成に取り組みました。



目標に向かって Step up エルダー制度実施

新しく入った職員が、さまざまな不安を取り除きながら職場に慣れ、また理論的で根拠のある適切なサービスを提供することができるよう先輩職員が指導する制度です。

上半期は毎月エルダー会議を開催し、
① 業務の基本をマスターしよう
② 法人、施設の職員、社会人として基本姿勢を身につけよう
を方針に、基本姿勢と介護の実践の具体的な目標に向かって3か月間実践し、その評価を行いました。

口腔ケアの質を上げる



特別養護老人ホームでは歯科衛生士2名と連携して、口腔ケアの充実に取り組んできました。加算を取得する準備ができました。

新人職員目標達成チェックシート

入職年月日： 年 月 日 氏名：

- ①業務の基本をマスターしよう
- ②法人、施設の職員、社会人として基本姿勢を身につける

評	1.未経験	0
価	2.あまりできていない	1
基	3.だいたいできている	2
準	4.ほとんどできている	3

	到達目標	1か月目			2か月目			3か月目			
		Y	E		Y	E		Y	E		
基本姿勢	法人の理念・目標・概要が理解できている										
	挨拶・送迎・笑顔ができる										
	身だしなみを整えている										
	無断で遅刻・欠勤をしない										
	報告・連絡・相談ができる										
	整理・整頓・後始末ができる										
	自分の健康管理ができる										
	自分のスキルアップに努めている										
	1・食事、水分補給について										
	食事の準備・後始末ができる										
利用者に合わせた食事の介助ができる											
水分補給ができる											
口腔ケアができる											
2・排泄について											
プライバシーに配慮した排泄ケアができる											
排泄介助の準備、後始末ができる											
残存機能を生かした援助ができる											
パットの種類を理解し、交換ができる											
3・入浴について											
入浴に関するケアができる											
特殊浴槽の操作ができる											
浴室の清掃ができる											
4・その他の介護について											
体位交換ができる											
安全な起降・移乗・移動介助ができる											
安全に衣類の着脱の介助ができる											
利用者を中心とした考え方ができる											
シーツ交換・環境整備ができる											
ケアプランが理解できる											
カンファレンスで発言できる											

地域共生 Community involvement



光仁会富竹の里は、施設サービス・在宅サービスの事業所内運営に止まらず、地域と共に歩み続けています。施設サービスをご利用されるお一人おひとりが、地域の一員として、この地に暮らし続けることを大切にしています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、地域とつながり取り組む活動が困難となりました。外出自粛や「3密」の回避で、交流会等は中止。つながることを大切にする活動方針が根本から覆されました。様々な工夫でつながりを再開する試みを始めています。

盆供養

お盆はご先祖様の霊を祀る伝統的行事であり、日本人が大切にしてきた行事の一つです。特別養護老人ホームでは、地元、曹洞宗の大寺信叟寺（しんそうじ）の第23代ご住職により、盆供養を執り行いました。今年も3密を避け、オンライン配信を利用するなど感染対策を行いながら実施いたしました。



東北中学校からの素敵なプレゼント

東北中学校の生徒の皆さまの資源回収等の取り組みにより、車椅子を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



運営推進会議の開催

地域密着型サービスを運営する「富竹の里和み」と「上松ホーム」では、2月に1回開催し、活動状況を報告し、必要な要望、助言をお聞きしました。提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスにしていくことで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

地域との交流

1987年（昭和62年）の開所以来、ずっと続いてきた「富建千引神社神楽保存会 富建千引神社 秋祭り」「ふるさと青少年太鼓道場のみなさんによる演奏」「東富竹諏訪社 秋祭り」「聖徳保育園さんとの交流」「みすず雅楽会さんの演奏」は、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。

5 地域貢献の取り組みを振り返る

つながり Connection

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 17 パートナシップで目標を達成しよう



厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現しようとしています。

当法人においても「地域包括ケアシステム」の一員として、地域の支え合い体制づくりや地域住民の方に対する効果的かつ効率的な介護予防支援等を推進するための取り組みを実施しました。

個別避難計画の作成

長野市と避難行動要支援者個別避難計画の作成業務委託契約を締結しました。個別避難計画は、災害時又は災害の恐れがある場合にサービス利用者の安全確保につながるものになります。安心して暮らし続けるまちづくりに協力します。

“猪（しし）の満水”（令和元年東日本台風）災害デジタルアーカイブ

“猪（しし）の満水”（令和元年東日本台風）災害デジタルアーカイブで、当法人のインタビューが掲載されました。

【“猪（しし）の満水”（令和元年東日本台風）災害デジタルアーカイブとは】
令和元年東日本台風の記憶の風化を防ぎ、長野県内外の防災・減災対策や防災教育などに幅広く活用することを目的として、長野県と信州大学が共同で構築したものです。



施設スペースの無料開放

平成30年12月より、地域住民の方に施設スペースを無料開放し、毎週約15名の方が介護予防運動に参加されています。また、令和元年度東日本台風災害後の地区コミュニティの維持のための活動拠点としてもご利用いただき、地域の方に寄り添った活動を続けます。生涯現役社会の実現に向けた高齢者等の活躍できる地域づくりにつなげることができればと考えています。



6

危機管理体制の取り組みを振り返る

安全第一 Safety first

火災・地震に加え、ゲリラ豪雨などが頻繁に起こるようになった日本では、いつでも、どこでも大水害が発生するという前提で備えをする必要があります。光仁会富竹の里においても、荒ぶる自然災害に伴う被害軽減策に対するさらなる取り組みを実施しました。



火災を想定した避難・通報訓練

福祉施設は、定期的に避難訓練を実施する義務があります。

火災を想定した通報訓練、各種消火器の取り扱いについて確認を行いました。



水害を想定した避難訓練

災害大国日本。

気候変動（地球温暖化）もあり、災害が激甚化・頻発化しています。

近年の災害、世界と日本の気候変動（温暖化の影響）、気象情報の正しい理解、

長野県の主要河川と特徴、川の水の速度（流れてくるまでの時間）、

千曲川流域（長野市北部）の大洪水の歴史、避難誘導訓練 など

総合的な学びを行いました。



地震を想定した対応訓練

BCP（事業継続計画）の作成、危機管理意識の高揚、大地震発生時の応急手当など、各種訓練を実施しました。



新型コロナウイルスワクチン接種

施設ご利用者の新型コロナウイルスワクチン接種を施設内で実施しました。

職員は各自で集団接種会場でのワクチン接種を実施し、接種日の翌日は休みとするなど、勤務シフトに配慮しました。



感染症研修（訓練）

第6波のクラスターを教訓にして、感染対策を推進しました。

感染症予防チェックシートでは、他職員の行動をモニタリングすることで、我が事ととらえ、職員一丸となって100%を目指しました。



富竹の里 感染症予防チェックシート集計 (2022.10)			
1 衛生管理等			
		実施率	前回比
マスクなしの会話がない		96.6	17.4↑
食事中は黙食にしている		89.7	6.5↓
マスクが適切に使用できている		96.6	3.4↓
ゴーグルが適切に使用できている		69.0	14.8↑
換気が適切にできている		93.1	5.6↑
共用の物品や場所の定期的な消毒ができている		86.2	1.3↓
利用者に咳症状がある場合、マスクの着用等をうながし、周囲への飛散予防を行っている		100.0	8.3↑
2 手洗い			
		実施率	前回比
出社時、退社時の手洗い（手指消毒）ができている		96.6	3.4↓
手洗いは適切な方法（時間含む）ができている（ハッピーバースデーソングを2回歌うと30秒）		44.8	21.9↓
手指消毒液は垂れ落ちるぐらいの量を使用し、手が乾くのに10秒以上かかっている		79.3	8.5↑
手袋を使用する時は一人ずつ交換し、手袋をはずした後に都度手洗い又は手指消毒をしている		100.0	8.3↑
ご利用者への手洗い又は手指消毒ができている		69.0	6.5↑
3 排膳時の対策（おむつ交換を含む）			
		実施率	前回比
排膳時ケアの必要物品（使い捨て手袋、ガウン、消毒薬、ビニール袋等）が効率よく揃えてある		96.6	3.4↓
排膳時ケアの際に使い捨て手袋を着用し、1回ごとに手袋を交換し手洗い又は手指消毒している		93.1	2.7↓
使用後のおむつ等はビニール袋等に密閉して移動している		100.0	16.7↑
排膳時ケアの交換の手技が統一されている		86.2	2.9↑
4 食事時の対策			
		実施率	前回比
飛沫が飛ばない環境になっている		96.6	0.8↑
他のご利用者の支援に移るときは都度手指消毒が実施されている		62.1	16.3↓
箸いすを押した後には手指消毒が実施されている		41.4	16.4↑
私語を慎んでいる		89.7	6.1↓
5 入浴時の対策			
		実施率	前回比
一動作（一人）ごとに手指消毒をしている		65.5	11.3↑
タオルを共用していない		86.2	5.5↓
私語を慎んでいる		69.0	18.5↓
すべての項目で実施100%を目指します。そのためにハード面・ソフト面の対策を推進します。対策の推進にご意見がありましたら、所属長に連絡なく申し出てください。			
			施設長

特別休暇付与

本人や同居する家族等に体調不良があった場合は入社停止とし、必要な検査を受けられるよう徹底しました。その際は特別休暇とし、有休休暇を消費せず休める環境にも配慮しました。

新型コロナウイルス感染症以外の安全対策

食事は命に関わる大切な支援です。嚥下機能が弱くなられたご利用者ご家族に食事の内容や時間、飲み込みの状態を管理栄養士、介護職員、生活相談員が説明し、確認していただく取り組みを行いました。



質の高い死 Quality of death



私たちは、ご利用者の人生の最期のフェーズに携わり、エンディングストーリーを適切につくり上げていく役割があります。ご利用者との会話をとおして、想いを尊重し、納得できるプロセスをガイドすることが責務だと思っています。百人いれば百通りの生き方、逝き方がある。人生の最期まで尊厳ある生活（その人らしい生活）とご利用者・ご家族の意向に沿った看取りケアを支援します。

看取り介護をさせていただいたご利用者数

事業所名	退所者数	看取り実施者数
特別養護老人ホーム富竹の里	15	11
特別養護老人ホーム富竹の里和み	5	2
介護付有料老人ホーム上松ホーム	8	4
合計	28	17

全人的苦痛のへの支援

「食べたいのに食べられないなんて…本当にかわいそう…。自分だったらどうしたいか…難しい」

最期が近づく家族を思う、妻と娘。

家族はとても明るく、いつ面会に来ても笑いが絶えず、お部屋からはいつも賑やかな声が聴こえていました。

この日、主治医から突き付けられた現実、家族は泣きながら葛藤していました。そこには、夫を思う妻と、父を思う娘の姿がありました。

終末期に入ると、嚥下機能の低下で食べるのが難しくなり、食べたものを誤嚥してしまうリスクが高まります。誤嚥することで肺炎を起こし高熱が出たり、口の中に痰が溜まるなどの辛い状態を引き起こす場合があります。

「食べたい」「食べさせたい」という本人と家族の気持ち、「食べさせてあげたい、けど無理はさせられない」という職員の気持ち、それぞれの立場で葛藤します。

最期まで食事をどれだけ提供していけるのか――

一人の視点では限界があります。医師・看護職員・介護職員・管理栄養士・相談員等々、多職種の連携とチームワークは欠かせません。

「何もできない」ではなく「何かできないか」の姿勢で最善を尽くす

医師はそんな本人や家族の思いに寄り添い、言葉をかけてくれました。

「リスクがあっても好きなコトやモノを提供してあげてください。後悔しないように」後日、ご家族が持参されたものがあります。「お父さんケンタッキー好きだったよね。買ってきたよ」。袋からチキンを取り出すと部屋中があの子キンの匂いに満たされました。家族が口元に近づけると、もぐもぐと口を動かすのですが、「このままでの提供は難しいのでミキサーにかけますね」と説明すると、少し表情が曇るのをその場にいた全員が感じ取りました。

それでもペースト状にしたチキンを4～5口ほど食べることができました。

2週間後に息を引き取られるのですが、その間もご家族は1日おきに面会にいられては、大好きだったコーヒーやお汁粉を提供し続けました。

亡くなる2日前にもお汁粉を飲み、人生最期の日はガーゼにお汁粉を含ませ口元にあてると口を開けてくれました。

その表情は満足されているように見えました。



振り返り (Conference)

看取り支援をさせていただいた後には必ず振り返りを行います。

- ・ Aさんは、食べることが大好きな方だったので、最期まで口から食べたかったと思う。
- ・ しかし、人生の最期が間近に迫ってきたとき、「いらない」と拒否する時もあった。
- ・ ご家族も食べさせたかったと思う。
- ・ 「お汁粉飲む？ コーヒー飲む？ ケンタッキー食べたい？」と訊くと、Aさんはその日によって毎回表情が違った。
- ・ その時々で、「今日は実行する？」「今日はやめる？」「今日はこのくらいにしようか」と毎日のように話し合いを繰り返した。
- ・ 重度の誤嚥性肺炎を繰り返す中で、食べれば悪化すると理解して提供することが果たして本当によいことなのかと葛藤があった（看護）
- ・ ご家族と触れ合う中で、「食べさせたい」意向を強く感じ試行錯誤した（栄養）
- ・ 通常の業務もありながら、Aさんお一人に長時間割くこと。そこまでするべきなのか。でもしてあげたかった（介護）

毎回難しく、毎回悩みます。

それが看取り支援です。

自分の死の体験を語ることはできません。

向かい方も一人ひとり異なります。

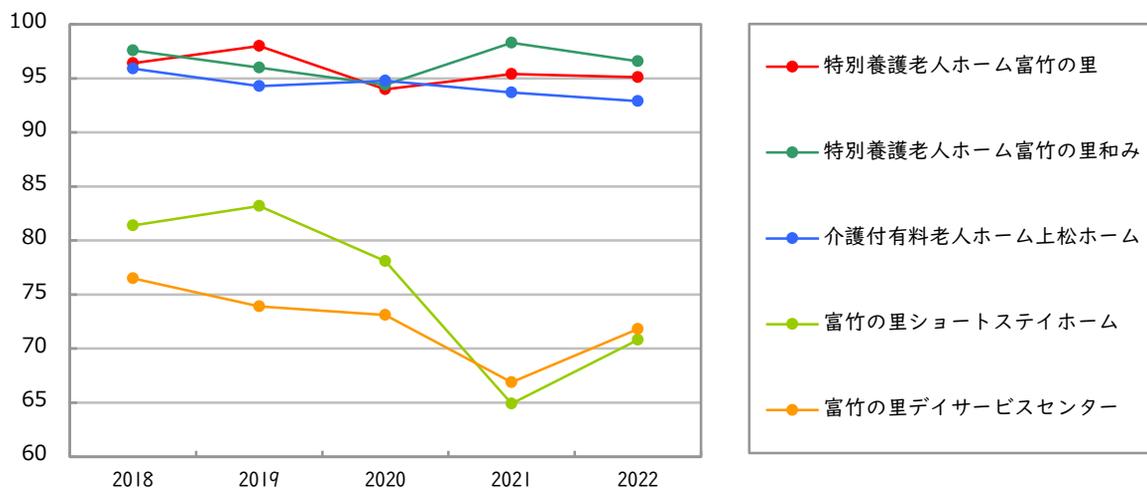
だからこそ、できることを模索し、

目の前のご利用者に対し謙虚な姿勢で最善を尽くすことを日々心がけています。



事業所毎の利用率等

事業所名	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
特別養護老人ホーム富竹の里	96.4	98.0	94.0	95.4	95.1
特別養護老人ホーム富竹の里和み	97.6	96.0	94.4	98.3	96.6
介護付有料老人ホーム上松ホーム	95.9	94.3	94.8	93.7	92.9
富竹の里ショートステイホーム	81.4	83.2	78.1	64.9	70.8
富竹の里デイサービスセンター	76.5	73.9	73.1	66.9	71.8

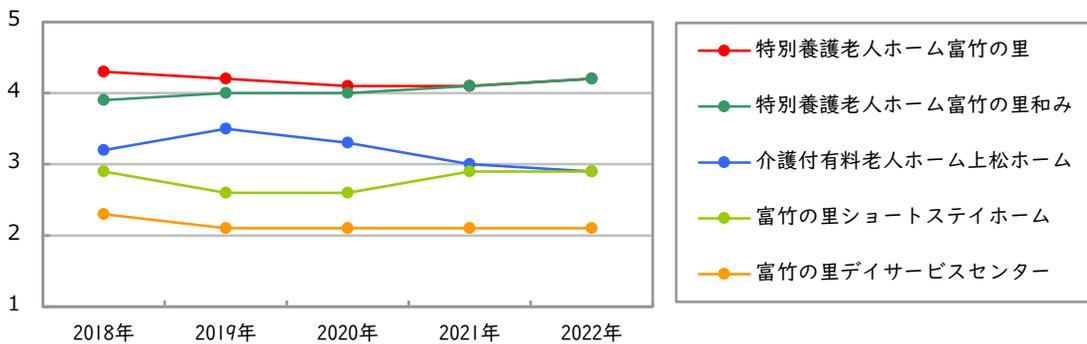


事業所毎の平均年齢

事業所名	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
特別養護老人ホーム富竹の里	88.6	88.5	87.8	88.0	87.0
特別養護老人ホーム富竹の里和み	89.4	88.7	89.4	89.8	91.1
介護付有料老人ホーム上松ホーム	89.4	90.5	90.7	89.5	90.4
富竹の里ショートステイホーム	89.0	89.5	90.0	90.6	90.9
富竹の里デイサービスセンター	87.9	87.9	88.3	88.3	88.1

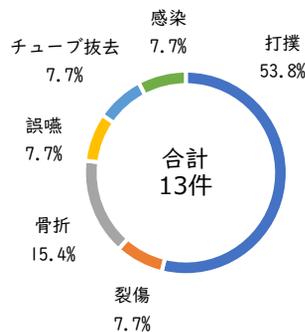
事業所毎の平均介護度

事業所名	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
特別養護老人ホーム富竹の里	4.3	4.2	4.1	4.1	4.2
特別養護老人ホーム富竹の里和み	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2
介護付有料老人ホーム上松ホーム	3.2	3.5	3.3	3.0	2.9
富竹の里ショートステイホーム	2.9	2.6	2.6	2.9	2.9
富竹の里デイサービスセンター	2.3	2.1	2.1	2.1	2.1



事故報告件数

種類	件数
打撲	7
裂傷	1
骨折	2
誤嚥	1
チューブ抜去	1
感染	1
合計	13



私たちは、長野市介護保険事故報告事務取扱要領に従い、介護保険サービス提供に当たり、以下の報告対象に該当する事故等が発生した場合は、長野市に報告を行っています。

1. 利用者が死亡または負傷※した場合
※負傷とは、医師の保険診療を要したものの。
2. 利用者が無届で外出し、警察・消防等に捜索協力を依頼した場合
3. その他事故により、利用者家族等から苦情が出ている場合

相談苦情件数

種類	件数
サービスの質	10
説明・情報提供	2
職員言動	2
合計	14



苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

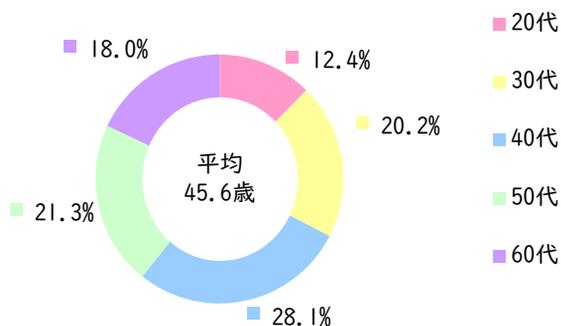
STAFFの数等

雇用形態	人数
常勤	76
非常勤	13



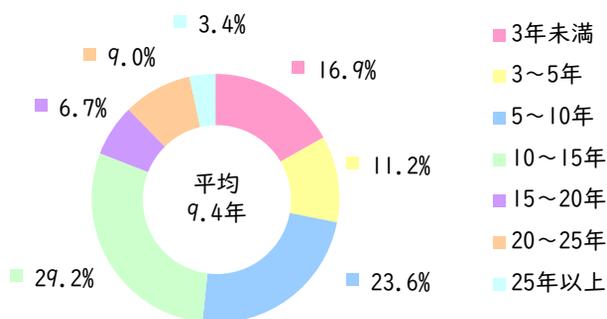
STAFFの年齢割合

年代	人数
20代	11
30代	18
40代	25
50代	19
60代	16



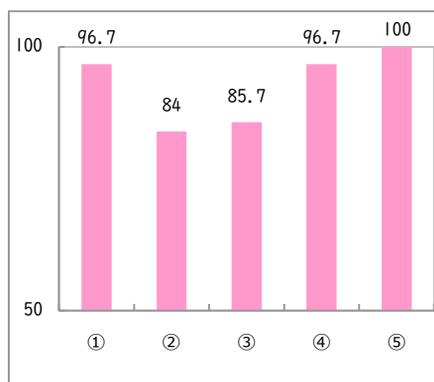
STAFFの勤続年数

年代	人数
3年未満	15
3～5年	10
5～10年	21
10～15年	26
15～20年	6
20～25年	8
25年以上	3



事業所毎（介護職員）の介護福祉士保有者数

	事業所名	保有率 (%)
①	特別養護老人ホーム富竹の里	96.7
②	特別養護老人ホーム富竹の里和み	84.0
③	介護付有料老人ホーム上松ホーム	85.7
④	富竹の里ショートステイホーム	96.7
⑤	富竹の里デイサービスセンター	100.0

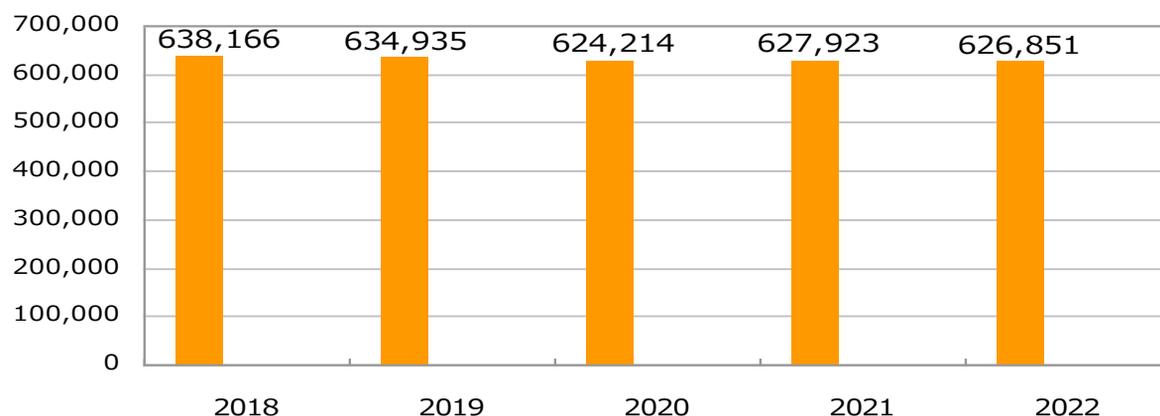




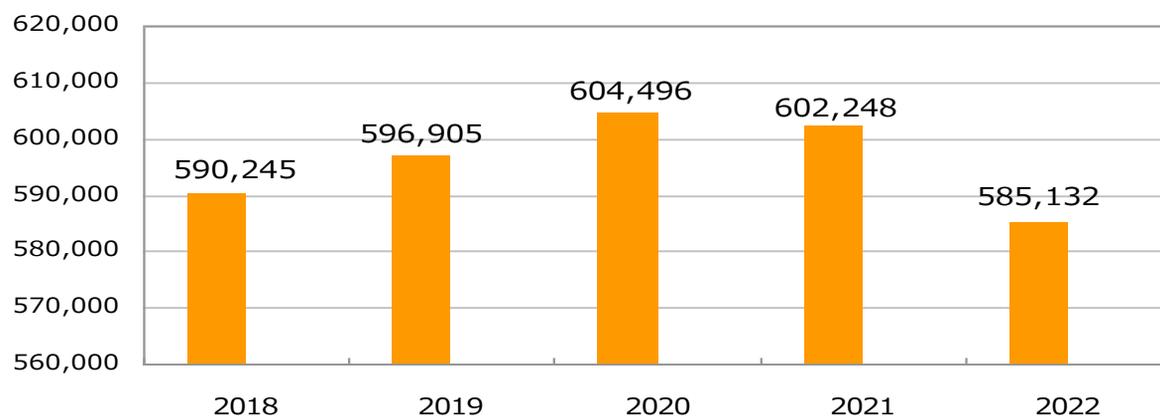
単位：千円

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
事業活動収入	638,166	634,935	624,214	627,923	626,851
事業活動支出	590,245	596,905	604,496	602,248	585,132
事業活動収支差額	47,921	38,030	19,718	25,674	41,719

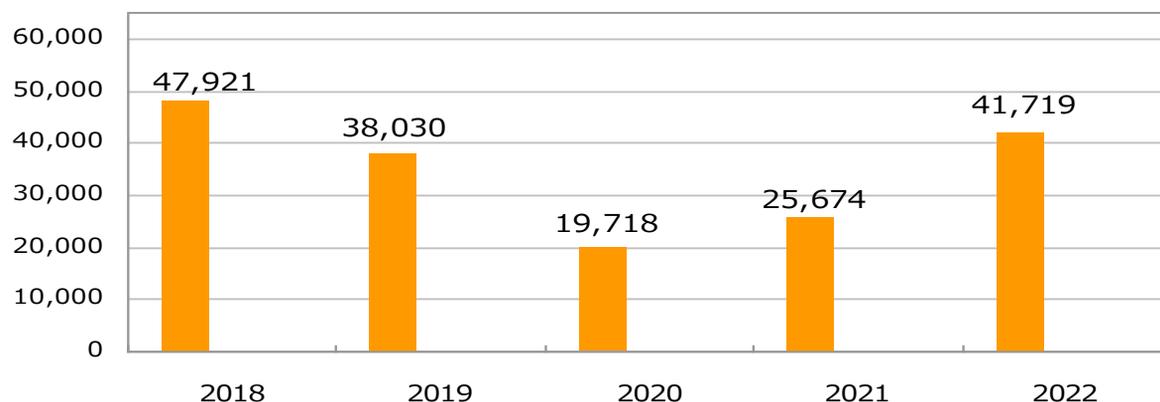
事業活動収入 Revenues



事業活動支出 Expenditures



事業活動収支差額 Total balance for the term



理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 執行状況

開催年月日	場所	出席者	審議事項等
令和4年11月22日 理事会	富竹の里	理事6名 監事2名	・補正予算 ・評議員選任候補者の推薦 ・苦情解決相談員の選任 ・理事長及び常務理事の職務執行状況
令和4年11月22日 評議員選任解任委員会	富竹の里	委員3名	・評議員の選任
令和5年2月13日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	・上松ホーム運営規程の一部改正
令和5年3月10日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	・富竹の里運営規程の一部変更 ・富竹の里ショートステイホーム運営規程の一部変更 ・富竹の里のみ運営規程の一部変更
令和5年3月28日 理事会	富竹の里	理事7名 監事2名	・補正予算 ・中期経営計画 ・令和5年度事業計画書（案） ・令和5年度当初予算書（案） ・苦情解決相談委員の選任 ・理事長及び常務理事の職務執行状況

各事業所 TOPICS

特別養護老人ホーム富竹の里（定員56名） 富竹の里ショートステイホーム（定員8名）



新型コロナウイルス感染予防対策により、毎年行われるご家族や地域との交流行事は引き続き中止せざるを得ない一年でした。家族の絆に深く関わる面会は、感染状況によって場所や方法を工夫して実施しました。令和4年1月の新型コロナウイルス集団感染を教訓に、感染対策を講じ、職員（家族含む）の感染はありましたが、ご利用者への感染は防ぐことができました。

ご利用者の利用状況（R5.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
9人	47人	56人	101歳	62歳	11年	2年9か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	4人	36人	16人	56人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	0人	1,847人	12,204人	5,383人	19,434人	53.2人

（富竹の里ショートステイホーム）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
8人	11人	125人	705人	3589人	747人	113人	2,067人	5.7人

特別養護老人ホーム富竹の里和み（定員20名）



新型コロナウイルス感染症予防対策を実施してきましたが、令和5年10月に職員1名とご利用者1名の陽性が判明しました。感染拡大防止対策を直ちに実施し、新たな陽性者の発生はありませんでした。

6回の運営推進会議を開催しましたが、内4回は感染症対策により書面開催となりました。長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に提供しているサービスの内容等の報告や説明を行い、ご意見等を賜りました。

ご利用者の利用状況（R5.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
3人	17人	20人	104歳	72歳	9年	3年10か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	3人	9人	8人	20人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	0人	1,583人	2,311人	3,159人	7,053人	19.3人

介護付有料老人ホーム上松ホーム（定員24名）



感染予防対策を徹底し、「夏祭り」「敬老会」「クリスマス会」「節分」等季節折々の行事の開催や個別・集団体操や軽作業等の実施など、サービス計画書に基づきながら、体を動かしたりする機会を作り、ご利用者の生活の質の維持・向上に努めました。面会では、主に窓越し面会でしたが、心身の状態によっては対面での面会を実施し、食事のご様子や心身の様子を見ていただくことも行いました。ご家族にこまめな状態報告や日頃の様子等をお伝えし、施設とご家族とのコミュニケーションも大切にしたい安心安全なサービスの提供に努めました。

ご利用者の利用状況（R5.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
4人	18人	22人	997歳	78歳	10年	3年1か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
6人	2人	4人	6人	4人	22人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
2,238人	891人	1,445人	2,309人	1,261人	8,144人	22.3人

富竹の里デイサービスセンター（定員35名）



新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しましたが、ご利用者の1/4ほどの方がコロナ陽性となり一定期間休まれました。ご家族が陽性となって一定期間休まれた方も多く見られました。集団感染はありませんでしたが、感染予防のため、休まれる方も多く安定したご利用者の確保が難しい状況でした。

ご利用者の心身機能や生活機能の維持・向上を目指し、理学療法士、機能訓練指導員を配置し、ご利用者一人ひとりの目標、身体状況、意欲に合わせた個別機能訓練を充実させて実施しました。様々なメニューの中から選択する個別レクリエーション活動やご利用者全員での共同作品作りなどを行い、季節ごとの行事も開催しました。また、裏庭に大豆を植えて、秋に収穫し、節分会で豆まきを行ったり、手作りの小さな田んぼで稲を育てたりしました。ご利用者のADLが一定の評価期間の中で維持できていると認められ、ADL維持等加算を算定しました。また、中重度（要介護3以上）のご利用者の割合、職員体制の基準を満たし中重度ケア体制加算を算定しています。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

- ・新規契約者 30名
- ・契約終了者 21名（死亡9名、特養入所3名、有料施設入所4名、療養病院1名、他事業所へ変更2名、転居2名）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
162人	355人	1,038人	3,528人	1,591人	899人	975人	550人	9,098人	25.1人

稼働日数362日

光仁会富竹の里介護支援センター



新型コロナウイルス感染症予防や災害時に備えた対応に配慮し、その方に応じた相談・提案・支援と病院や各関係機関との連携を図り、リモート会議やカンファレンスを実施しました。

新規契約36件では、地域包括支援センターや病院等からの依頼に加え、直接ご家族からの担当依頼も増えており、介護保険認定前の段階から関わりを持たせていただき、各関係機関との密な連携と迅速な対応で、スムーズな在宅生活に向けた調整支援に努めました。

契約終了29件では、ご自宅での看取りも含め、人生の最終段階までその方らしく生活ができるよう配慮し、在宅生活が困難になられたご利用者へは、次のステージでも安心して生活ができるよう入所施設、病院等と連携した情報提供を行いました。ご利用者の尊厳を守り自立した在宅生活のための適切な相談援助を行い、認知症や虐待等にも留意したサービス事業者や医療機関等との連携を図り、居宅介護サービス計画書の作成に努めました。また、長野市からの委託業務で、避難行動要支援者の個別避難計画を作成し、ご本人や地域・支援者とも共有しました。

ケアプラン作成件数等

介護給付	延べ1,272件
介護予防給付	延べ110件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	延べ74件
新規利用（介護） （介護予防） （介護予防マネジメント）	33件 2件 1件
入院時連携加算	51回
退院・退所加算	17回
契約終了	29件

契約終了内訳

- ・死亡9名
- ・特養入所9名
- ・ケアハウス入居1名
- ・サービス付き高齢者向け住宅4名
- ・居宅サービス利用中止3名
- ・長期入院4名
- ・転居1名
- ・予防給付移行1名

長野市地域包括支援センター富竹の里



地域包括支援センターは、福祉・保健・医療などに関する高齢の皆様様の総合相談窓口としての役割を担っております。社会福祉士・保健師（看護師）・主任介護支援専門員の専門職が配置されています。今年度も新型コロナウイルスの流行があり、交代で在宅ワークを実施しました。

- ・総合相談支援事業については高齢の皆様やご家族、地域からの生活全般の悩み・相談について必要な支援につなぐことができました。今回は感染予防に十分注意し、短時間での訪問や電話での聞き取りを行いました。また、認知症の方の相談に応じた支援、地域の高齢の皆様の実態把握を行い、必要な支援を提供できるよう早期の対応に努めました。
- ・権利擁護事業については支援が必要な高齢の方が適切な福祉サービスや金銭管理の支援が受けられるように成年後見制度の活用や、虐待の未然予防や対応を行いました。消費者被害情報を収集し、各地区民生児童委員協議会に出席し提供しました。
- ・包括的・継続的ケアマネジメント事業はコロナ感染予防のため十分な対策を取り年2回管内ケアマネジャー連絡会を実施し、情報共有と意見交換等を行いました。また、高齢の方が暮らしやすい地域になるようにいろいろな機関と協力しながらネットワーク作りに努めます。
- ・介護者教室については古里住民自治協と共催し講演会等を行いました。
- ・介護予防ケアマネジメント事業は介護保険の認定が要支援1・2の方及び事業対象者（基本チェックリストにより、国の基準に該当した要支援1相当の人）のサービス計画を作成し、自立した生活を目指して支援しました。

ケアプラン作成件数等

予防給付ケアプラン作成数	147件
総合事業ケアプラン作成数	181件

介護予防給付件数	1,715件 うち委託 422件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	1,516件 うち委託 171件

相談件数

介護保険	413件
住宅福祉サービス	24件
施設・住まい	39件
医療	18件
高齢者虐待	37件
成年後見制度	8件
消費者被害	7件
その他	96件
合計	642件

主な会議・研修会への出席

会議・研修名	回数
民生委員定例会（古里・長沼・柳原地区ケア会議）	36回

メ 毛

社会福祉法人光仁会富竹の里

発行 2023年5月

責任者 施設長 嶋田 直人

〒381-0006 長野市大字富竹1621番地

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

<http://tomitake-carenet.com>

